

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
94
平成23年4月15日発行

～ まちの宝シリーズ～

新たな門出
(電代小学校入学式)



平成23年度予算徹底検証

～ 一般会計71億5200万円～

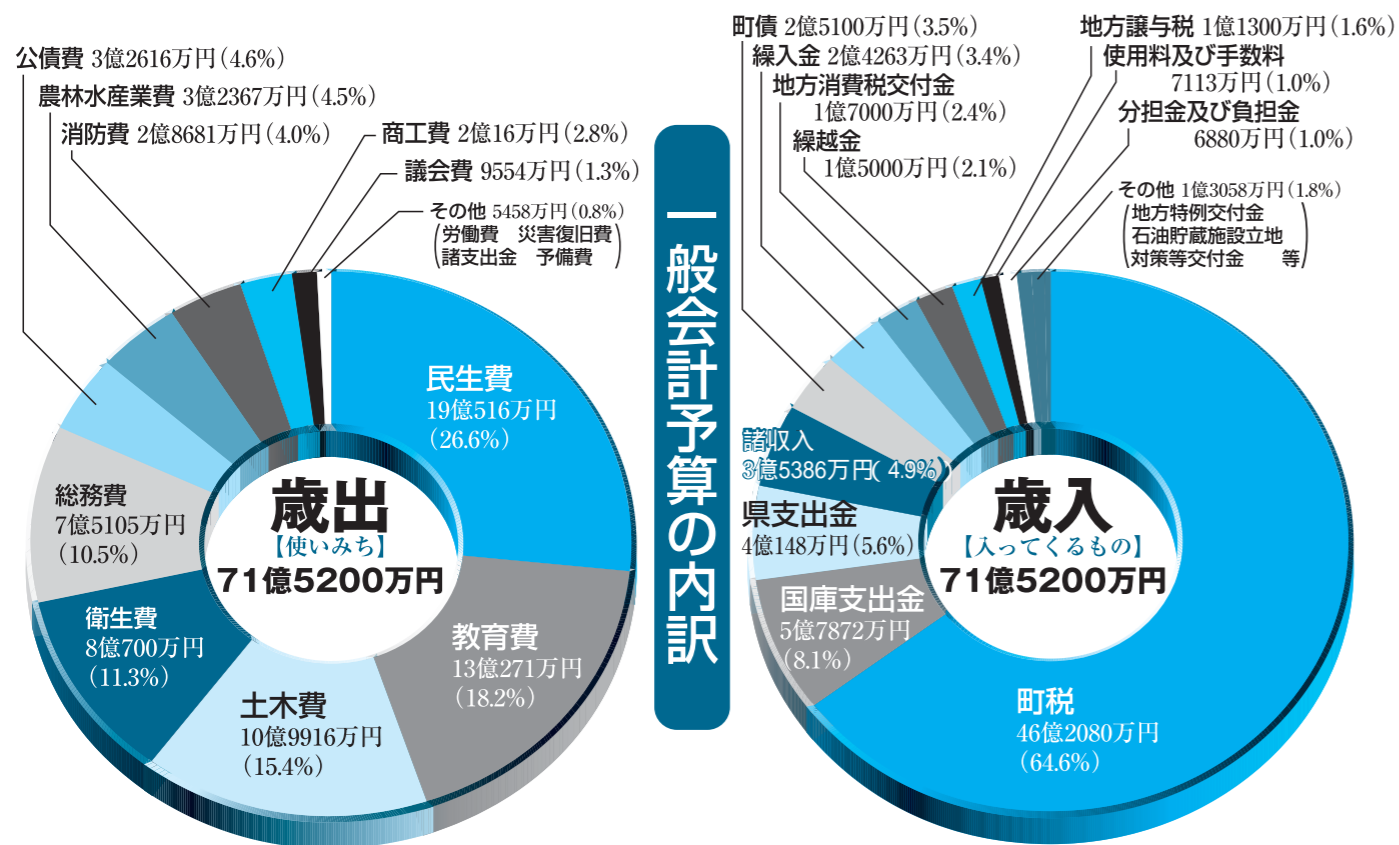
8人が一般質問

2～5ページ

14～22ページ

平成23年度 予算 徹底検証

3月定例会



一般会計予算の内訳

一般会計予算 **71億5200万円** (前年度対比3.8%増)



一般会計予算

平成23年度における一般会計予算は、歳入では64.6%を占める町税は46億2080万円、前年度の47億3683万円に對して、1億1603万円の前年度対比2.4%の減となっております。歳出では、義務的経費、經常経費の継続的な圧縮・削減により、全般的に歳出抑制に努めています。子ども手当増・私立保育園の増設に対する子育て支援の拡充や介護施設サービス利用者の支援。また、全町を対象とした事業展開のための生ごみ処理器購入、日本海側拠点港湾の選定に弾みをつける東港振興室の設置などの取り組みは評価できます。

8会計総額

109億6894万円 (前年度対比2.8%増)

- 一般会計 71億5200万円 (3.8%増)
- 国民健康保険特別会計
 - 事業勘定 13億633万円 (2.0%増)
 - 施設勘定 1億2798万円 (3.5%増)
- 介護保険特別会計 9億5887万円 (5.6%増)
- 後期高齢者医療特別会計 7298万円 (3.5%増)
- 県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計 957万円 (11.2%増)
- 下水道事業会計
 - 収益的支出 5億8814万円 (1.2%減)
 - 資本的支出 2億8762万円 (8.0%減)
- 水道事業会計
 - 収益的支出 2億4821万円 (1.0%減)
 - 資本的支出 2億1724万円 (2.6%減)

予算審査特別委員会

平成23年度一般会計予算、特別会計予算の7会計を、平成23年3月10日・11日・14日・15日の4日間にわたり、各会計及び各款ごとに慎重に審査を行いました。自主独立の道を歩む町として、町民各層の多様な声を吸い上げ、町民福祉に役立つ有効な施策の構築を願うものです。そのためには、財政調整基金の計画的な積み立てを強く要望します。

平成23年第1回定例会は、3月2日から18日までの17日間の会期で開かれました。町長から新年度の施政方針表明があり、平成22年度補正予算、平成23年度予算、聖籠町立図書館建設委員会条例、聖籠町農業基本条例検討委員会条例の制定、また、聖籠町選挙管理委員及び補充員の選挙など25議案を慎重に審議し可決しました。第4次聖籠町総合計画の基本構想を定めるについては、3月16日・17日に町長・副町長・教育長・担当課長の出席を求め慎重に審査を行った結果、意見を付し原案どおり可決しました。請願1件と陳情1件を採択し、高齢者・国民が安心して医療や介護が受けられるような施策推進を求める意見書を可決しました。一般質問では、8人の議員が、農業振興、生ごみ分別収集、教育などについて、2日間にわたり町政全般を質しました。



平成23年度

予算

徹底検証

開かれた行財政の推進
(広報、広域行政、一般旅券発給など)

活力・魅力あふれる産業づくり
(農業、漁業、商業、観光など)



個性豊かな人・ふるさとづくり
(幼・小・中学校、社会教育、育英資金など)

主な事業概要

広報広聴活動の充実事業
800万円

行政改革等推進事業
965万円

主な事業概要

水田農業確立対策事業
6115万円

中小企業活性化支援事業
1億2899万円

農産物加工センター運営事業
550万円

質 疑

問 消費者センターの所管が、総務課から町民課へ移る。移るメリットは何か。

答 消費者センターの相談室は、個人情報保護ができる役割1階の個室である。町民課は相談室の隣であるので、サポート体制を強化できる。



質 疑

問 中小企業人材育成のため、支援金は、中小企業の実態にあわず使いにくい。

答 過去から、実績に見合った金額で計上している。

問 農産物加工センター業務委託料が、昨年に比べ50万円増加しているのはなぜか。

答 増加の要因は、特産品開発の材料購入とパートを雇ったためである。

主な事業概要

幼児教育支援事業
594万円

小・中学校教育の充実事業
2億919万円

育英資金事業
3700万円

質 疑

問 町内の小・中学校に非常勤講師が大幅に増える。募集方法はどう考えているか。

答 ハローワークの方でも、広く募集をしてみようとしている。

問 国際交流については、ハルビンとの交流事業があるが、今後、交流内容を見直す時期ではないか。英語圏との交流も検討すべきでないか。

答 交流の継続は大事だが、見直しも検討したい。英語圏の交流も検討したい。



快適な生活空間の創造
(道路、都市計画)

主な事業概要

ごみ減量化・資源化推進等事業
3億1191万円

道路維持管理・除雪事業
2億2005万円

弁天湯風致公園整備事業
6100万円

下水道事業安定化対策事業
4億2358万円

質 疑

問 生ごみ処理施設の土地は、町購入ではなかったのか。

答 土地については1年契約の借地である。今後、購入を検討したい。

問 新バイパスの大夫興野インターは、新潟方面のみであり不便である。新発田方面への乗り入れも必要である。東港インターも同じように不便であるが対策は。

答 大夫興野インターは新発田方面へ行くように調査予算がついている。東港インターは、臨海鉄道の線路があるため無理である。

安全で安心できる暮らしの実現
(防犯・防災、子育て支援、児童・高齢者福祉など)

主な事業概要

消防力の整備・充実事業
2億4238万円

児童福祉の充実事業
6億9849万円

高齢者福祉の充実事業
4億6717万円

障がい者福祉の充実事業
1億9711万円

質 疑

問 子どもネットワーク事業の中で、アドバイザーが存在すると聞く。今後、いつまで必要なアドバイザーなのか。

答 子どもネットワーク事業については、今後、聖籠こども園を拠点に展開したい。アドバイザーについては、委託としているが期間は1年と考えている。

問 町民への防災に対する啓発活動と自主防災組織の設置推進をどう考えているか。災害における、町の備蓄状況はどうなっているか。

答 自主防災組織は21集落が設置した。防災に対する啓発活動は、自主防災組織を中心に行いたい。町の備蓄状況は、2階の水、6本入り30箱。流通備蓄としてスーパーセンタープラント4等と災害時協定を結んでいる。



定例会

【主な議案】

- 聖籠町立図書館建設委員会条例の制定
- 聖籠町農業基本条例検討委員会条例の制定
- 聖籠町職員の子供休業等に関する条例の一部改正
- 聖籠町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 聖籠町観音の湯さばーん館条例の一部改正

町立図書館建設委員会 条例の制定



図書館からのおすすめの本

生涯学習時代の図書館のあり方、独立図書館の必要性について町立図書館建設調査委員会から平成22年3月に答申を受け、その答申を踏まえ、町立図書館建設に向けて委員会を設置するため、条例を制定します。

主な質疑

図書館建設
どう考えているか

五十嵐利栄議員 町立図書館建設調査委員会の答申がだされた。図書館建設については、委員会の答申を尊重し方向性をだすことになると思うが、どのように考えているのか。

独立図書館整備を
前提

町長 独立図書館として整備することを前提としている。

委員は
幅広く人選を

中村恵美子議員 町の委
選挙公約なので、政策として前向きに取り組んでいきたい。

検討して
いきたい

社会教育課長 今後検討していきたいと思う。

主な質疑

なぜ文言に
差異が

小川益一郎議員 町立図書館建設委員会条例、農業基本条例検討委員会条例が出されている。この2つの条例案を比べると、同じ内容で構成されているにもかかわらず、随所に文言の表現に差異がある。

なぜ、このような差異が生じるのか。誰がチェックするのか。

今後改める

総務課長 基本的に例規審査の考え方は、各課で

検討内容を
あらかじめ
絞り込む

産業観光課長 委員数が多いので検討内容をあらかじめ絞り込みを行う。幹事の選任は、委員長が諸条件を勘案してもらいたい。

幹事会とは何か

宮沢光子議員 農業基本条例検討委員会での幹事会とは、どのような役割を持っているのか。幹事の選出のバランスは考えているのか。

農業基本条例検討委員会 条例の制定



聖籠町の農業どうする

本町における農業及び農村等のあり方についての基本理念及びその実現に必要な基本的な施策等に関する事項を定める、(仮称) 聖籠町農業基本条例の内容等を検討する委員会の設置について必要な事項を定めるため、条例を制定します。

起案したものが総務課にくる。それを法制執務上のルールに照らし、総務課でチェックしている。ルールを逸脱するものは、修正や協議を担当課に申し入れる。基本的に間違いがなければ担当課の考えを尊重している。今回の条例については、指摘のとおり誤解や解釈上の疑義はできるだけ統一されるべきである。今後は改める。



第4次総合計画策定

東港振興室設置

学力向上総合計画策定

施政方針表明



渡邊町長

平成23年度においては、国の動向を踏まえながら地域主権改革の推進と相まった自主・自立した個性ある町づくりを進めていきます。併せて第4次総合計画の推進のため、町民皆さんと共に計画的な町政運営に努めます。

4月から設置する東港振興室を中心に、新潟東港が拠点港に選定されるように、県・新潟市と連

携し、企業誘致活動の推進をはかります。

バイオスタウン基本構想に基づき、未利用バイオマスの活用を促進するため、本年から全町を対象としたリサイクル施設を建設し生ごみたい肥化事業を開始します。

子どもの医療費助成として、現在の0歳から小学校6年生までの通院費を本年度からは3回目を

聖籠町選挙管理委員

及び同補充員決まる

3月18日の本会議において、平成23年5月29日をもって任期満了となる聖籠町選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。

任期満了に伴う、新たな聖籠町選挙管理委員及び同補充員の選挙は、指名推選により議長が指名し、全会一致で当選が決定しました。

選挙管理委員
小島敬夫さん
(蓮野)
齋藤のり子さん
(網代浜)
高橋藤壽春さん
(次第浜)
長谷川進一さん
(聖中ヶ丘)

選挙管理委員補充員
松木洋三さん
(山諏訪山 第1順位)
小林友子さん
(正庵 第2順位)
田村榮吉さん
(次第浜 第3順位)
久住悟さん
(網代浜 第4順位)

選挙管理委員



委員 高橋藤壽春さん



委員 小島敬夫さん



委員 長谷川進一さん



委員 齋藤のり子さん

一般会計補正予算(第9号)

子ども手当扶助費
予防接種扶助費
財政調整基金積立金

2799万円減額
729万円減額
1億6000万円

平成22年度一般会計の既定予算に歳入歳出それぞれ6060万円を減額し、総額73億9754万円とする補正予算(第9号)を3月9日に可決しました。

主なものは、子ども手当扶助費2799万円減額、予防接種扶助費729万円減額、財政調整基金積立金1億6000万円などです。

除雪費増額 専決処分を承認

除雪対策として、既定の予算に歳入歳出それぞれ2000万円を追加した一般会計補正予算(第8号)を専決処分したことを承認しました。

主な質疑

除雪費残額は
加藤正之議員 本年の除雪出勤回数は、また、除雪費の残額は、
直営による除雪3回。この他、一部直営で3回出勤している。
残額は、時間外手当89万円、機械除雪運転手賃金381万円、燃料費28万円、除雪作業委託料1008万円である。

出勤が多かった

ふるさと整備課長 出勤回数は、全車両で12回、

主な質疑

どうなる事業の継続

宮沢光子議員 女性特有がん検診事業は、対象者にクーポン券を送る国の事業であるが、23年度も実施するののか。

23年度も実施

保健福祉課長 国として

バイオマスでなぜ減額

五十嵐利栄議員 地域バイオマス活用交付金が減額されているのはなぜか。

実績による減

生活環境課長 生ごみ処理場の建設と、処理機の購入の実績による減額で

学校給食費 未納対策は

五十嵐利栄議員 学校給食費における未納者対策の現状は、どうなっているのか。

趣旨を文書通達

教育長 学校給食費の未納者については、子ども

は、平成23年度も実施する予定である。

手当をあてるという訳にはいかない。

趣旨を文書でお願いしている。家庭訪問や電話により納入をうながしている。

少額訴訟制度については検討中である。学校給食費の収入の減については、給食回数削減によるものである。



大雪に見まわれた今冬

一般会計補正予算 主な質疑

遅いのではないが
ホームページ公開

中村恵美子議員 ホームページ公開
ページ公開用会議録が、公開されるのが遅いというところで、町民や町外の人から話を聞いている。もう少し早くできないか。

時間の
ずれがある

議会事務局長 もとが定例会の会議録である。署名議員による確認後に、公開用会議録データを編集・作成するため、時間のずれがある。



期待される日本海拠点港湾

臨時雇金
なぜ毎年余るのか

加藤正之議員 児童福祉施設費の臨時雇金は、なぜ毎年余るのか。

マックスで計算

保健福祉課長 臨時・パート職員とも、時間をマックスで計算している。パートは2人多く積算していた。

臨時雇賃金の
減額理由は

宮沢光子議員 児童クラブの臨時雇賃金の減額が多額である。減額の理由は何か。

代替の
パート賃金が不要

保健福祉課長 児童クラブについては、3小学校に臨時職員を2人ずつ配置している。臨時職員が休むことを考りよして、パート賃金を計上していたが不要であった。

子ども手当
扶助費は出るのか

小川益一郎議員 国の子ども手当は出るのか。児童手当はどうなる。

わからない

町長 現実には厳しくわからない。児童手当は、所得制限の確認作業に時間がかかる。

子ども手当
計算違いでは

加藤正之議員 子ども手当は、なぜこんなに余るのか。

見込み誤り

保健福祉課長 見込み誤りであった。海外に移住する外国人の子どもも該当しており、見込みもたなかった。

ワクチン接種後の
副作用は

宮沢光子議員 子宮頸がんワクチン接種が全国的に広がっている。ワクチン接種時、強い痛みを訴える声があると報道された。また、ワクチンの在庫が少なくなったとも報道されている。当町において、どのような状況か。

副作用の
声はない

保健福祉課長 診療所に確認したが、今のところ痛みを訴える声はない。ワクチンの在庫はある。



どうなる子ども手当

何も使わなかった
理由は

加藤正之議員 新規事業である日本海拠点港湾選定支援協議会負担金は、なぜ使わなかったのか。

必要なくなった

ふるさと整備課長 東港のアピールで新潟市と県の参加を促すため計画したが、県が独自で策定ビジョンを立ち上げたので

火災警報器設置
の現状は

必要なくなった。

中村恵美子議員 住宅用火災警報器設置助成金を減額しているが、設置の現状はどうなっているか。

設置を
お願いしてる

生活環境課長 防災無線を通じて、町内の皆さんに設置をお願いしている。

主な質疑

被災者支援の
輪を広げよう

五十嵐利栄議員 救援用食糧品などは、農家に協力を求めてみてはどうか。

わからない

町長 今後もあるかもしれない。

何に使うのか
臨時雇賃金

加藤正之議員 臨時雇賃金は、何に使うのか。

一般会計補正予算(第10号)

東北地方太平洋沖地震被災地支援物資	1000万円
東北地方太平洋沖地震救援食糧費	2000万円
東北地方太平洋沖地震被災地への義援金	5000万円

東北地方太平洋沖地震発生に伴う被災地支援として、平成22年度一般会計既定予算に歳入歳出それぞれ1400万円を追加し、総額74億1154万円とする補正予算を3月16日に可決しました。
主なものは、東北地方太平洋沖地震被災地支援物資1000万円、同救援食糧費2000万円、同被災地への義援金5000万円などです。

受け入れ対応の
臨時職員分である

町長 被災者を聖海荘で受け入れたい。そのための臨時職員分である。

支援物資の
在庫は

小川益一郎議員 物資は、災害用として備蓄していたのではなかったか。

余りない

町長 保存に問題があったので備蓄は余りない。



被災地への給水支援




被災地へ運ぶ支援物資


みなさんの 請願・陳情



請願(陳情)書の書き方

町民の皆さんの意見・要望などを町政に反映させる方法のひとつとして請願・陳情の制度があります。請願書・陳情書は、請願(陳情)する方の住所、氏名を記載し、押印して、紹介議員(陳情の場合は不要)1人以上の署名を受け、請願(陳情)の要旨・理由を記載したものを議長あてに提出してください。

(表紙)
に関する請願(陳情)書
紹介議員 
{ 陳情の場合は }
{ 紹介議員不要 }

(内容紙)
に関する請願(陳情)書
要旨.....
理由.....
(要旨・理由ともに簡潔明瞭に記載してください。)
平成 年 月 日
聖籠町議会議長 様
請願(陳情)者の住所 
氏名

第1回定例会では、地域住民より直接の声となります。請願1件、陳情2件が審査され、請願1件、陳情1件を採択し、陳情1件を継続審査としました。

採択した請願

高齢者・国民が安心して医療や介護が受けられるような施策推進の意見書を国に提出することを求める請願(提出者 新潟県社会保障推進協議会 会長 坪谷 誠)

採択した陳情

国営土地改良事業「加治川二期地区」地元負担軽減に関する要望書(提出者 加治川沿岸土地改良区連合 理事長 齋藤 善徳)

継続審査となった陳情

「所得税法第56条の見直しを求める陳情書」(提出者 新潟民主商工会婦人部 代表 宮村 一子)

意見書を 国に提出

第1回定例会で1件の意見書が提出され、全会一致で可決しました。

可決された意見書は、国の関係機関に提出し実現するよう要請します。

高齢者・国民が安心して医療や介護が受けられるような施策推進を求める意見書

自治功労者に対し 全国町村議会議長会より表彰



田宮議員 高松議員 須貝議長

多年(27年以上)にわたり町の地方自治の振興並びに、議会機能向上に貢献された功績のあった議員として、この度(平成23年2月)高松春雄議員が、全国町村議会議長会から表彰されました。また、多年(15年以上)にわたり、町の地方自治の振興並びに議会機能向上に貢献された功績のあった議員として、全国町村議会議長会から須貝龍夫議長と田宮実議員が表彰されました。

読者の声



星野 順子さん
(外畑)

「私の暮らしの場 聖籠町」

新潟市から嫁ぎ、新潟市で勤務しながら、聖籠町で三十六年間暮らししました。この間、聖籠町民として月日を過ごしてきたのか?いや、よく知らなかった。だが三人の子ども達は、町・地域に育ててもらっている。地域の方々に支えてもらっているといった感謝の気持ちは持ち続けてきた。町民として三十七年目、

退職をして、どっぶりとい日暮れるまで地域で生活をしている。勝手なもので「議会だより」もしっかり読むようになった。四世代七人家族の我が家にとっては、掲載されているどの内容にも興味・関心がある。町の取り組み、計画、事業内容を知り、「へい」、「そなの」、「問題もかかえているんだ」、「頑張っているんだ」等々

「住民の声」の代弁者としての議員の皆様、議会の活躍を期待しております。



一般質問

町政を問う

次回の定例会は、
6月中旬 開催予定です

8議員が質問

宮沢光子 議員 (15ページ)

1. 進んでいるか学習習慣の定着
2. 中学校の教育検証どう示すか
3. 一元化すべき循環バスと通学バス

五十嵐利栄 議員 (16ページ)

1. 行革にどう取り組むか
2. 生活道路の舗装短期間で
3. 米の品質対策を適切に

小川益一郎 議員 (17ページ)

1. 自殺者10人 病める聖籠町

小林政榮 議員 (18ページ)

1. どうする農業基本条例
2. たい肥は販売するのか
3. 何のためのもちつき機導入か

中村恵美子 議員 (19ページ)

1. 住宅リフォーム助成を
2. どうなる高齢者医療
3. 保健室からエアコンを
4. 国保一部負担金の実施要綱をつくれ

田宮実 議員 (20ページ)

1. 融資貸付審査の簡素化を
2. 加工センターの利用者は

堀常正 議員 (21ページ)

1. 東港振興室の業務は
2. 海洋交流施設の活用は

加藤正之 議員 (22ページ)

1. 村下開発新たな負担か
2. 事務事業評価の本格実施はいつから
3. 参議院選は県内で最低
4. 掲示場1カ所で十分か

進んでいるか 学習習慣の定着

教育長 町全体の教育力向上を目指す

問 現教育長が就任する前の教育委員会において、余りに新しい教育施策を展開しすぎた感がある。不易流行という言葉があるが、時代に合わせた流行の教育施策を講じることは必要と思う。しかし、当町における不易の教育を念頭に置いたものであったかどうか、疑問を呈したい。

平成23年度予算では、小・中学生の学力向上に重点をおき、非常勤講師

を通常の倍にする。学力向上の基本は、学習習慣の定着である。施策をどう考えているか。

教育長 今年度、(仮称)学力向上推進総合事業に取り組み。確かな学力・豊かな心・健やかな体、3つのバランスをとって子どもたちを育てることが事業の目的である。それぞれの立場で教育力を高め、町が一丸となるような事業にしたい。



確かな学力で一歩前進

中学校の教育検証 どう示すか

教育長 さまざまな形で公表する

問 平成23年4月、聖籠中学校は開校10周年を迎える。記念事業補助金80万円が計上されているが、開校に至るまでに水面下で町を二分するような大騒ぎになったことを記憶している町民は多い。教科センター方式の検証も含め、どのような形で検証結果を町民に示す考えか。

教育長 学力や教科センター方式の運営も含め、

多角的な面から総合的に検証する。検証結果は、町の広報などで公表する。

一元化すべき 循環バスと 通学バス

町長 現時点では なじまない

問 高齢者ドライバーの免許返納が進むにつれ、今後、循環バスは必要不可欠になる。自分で運転できない交通弱者は高齢者だけでなく子どもたちも同じである。今冬、通学バスを試行運行したが、通学する上で天候面での悪条件は冬のみではない。

悪天候は年間通しいつでも起こりえる。循環バスと通学バスの一元化を提案したい。

町の公共交通システムがあり方検討会を立ち上げる考えは。

町長 循環バスと通学バスの事業目的が違う。しかし、今後、公共交通のあり方を検討する中で対応を考える。



宮沢 光子議員



五十嵐 利栄議員

行革にどう取り組むか

町長 今後5人～10人削減検討

問 町長は施政方針で平成17年～21年までの行革を総括し、新たに24年～26年の行革大綱を23年度中に取りまとめ対応していくと述べている。行革にブランク期間をおくべきではないと考えるが、今後の取り組みについてどう考えているか。業務の効率化の促進等で、現在184人の職員数を何人減らせるか。職員の賃金はこの10年間で約9・8%削減された。

町長 町長は施政方針で平成17年～21年までの行革を総括し、新たに24年～26年の行革大綱を23年度中に取りまとめ対応していくと述べている。行革にブランク期間をおくべきではないと考えるが、今後の取り組みについてどう考えているか。業務の効率化の促進等で、現在184人の職員数を何人減らせるか。職員の賃金はこの10年間で約9・8%削減された。

問 町内の従業員同レベルの企業に比べ差があるか。退職金や年金は地域の民間実態と比べ差が大きすぎないか。人事評価制度は早く取るか。工事実施上の公平性をどう考えているか。今年の異常降雪時の除雪体制から何を反省し、次年度対応するか。今後排雪計画を考えているか。

町長 概算見込で約2700万円とみている。実施は2年で終りたい。町道及び利用者の多い所を優先したいが、区長と協議して決める。除雪については、関係者と反省会を開いて対応する。排雪場所はないが、別條、亀塚等の今年の現状を踏まえて今後検討する。



生活道路の改善

米の品質対策を適切に

町長 県の指導に基づき対応

問 歴史的な米の品質低下を踏まえて、どう対応する。

町長 県の指導を基本として指導していく。

生活道路の

舗装短期間で

町長 2年を目途に

問 幅員6m以内の生活道路舗装について、全路線の総経費をどの程度とみているか。また実施期間を何年計画で考えているか。工事実施上の公平性をどう考えているか。今年の異常降雪時の除雪体制から何を反省し、次年度対応するか。今後排雪計画を考えているか。

町長 概算見込で約2700万円とみている。実施は2年で終りたい。町道及び利用者の多い所を優先したいが、区長と協議して決める。除雪については、関係者と反省会を開いて対応する。排雪場所はないが、別條、亀塚等の今年の現状を踏まえて今後検討する。

自殺者10人 病める聖籠町

町長 高度な質問に敬意

問 22年度における聖籠町の自殺者数は10人を数える。全国では13年連続3万人超である。新潟県では770人余りである。聖籠町を人口10万人に換算すると71人となる。政令都市のワースト1位が大府の30・4人、新潟市は26・5人で第3位である。

町長 聖籠町は人口比で大府市の2・3倍となる。平成18年10月28日「自殺対策基本法」が施行され、国の責務・地方公共団体の責務・事業主や国民の責務が定められた。聖籠町の自殺の状況をどう分析している。自殺は個人的な問題としてのみとらえられるべきものでなく、さまざまな社会的な要因があるも

町長 聖籠町は人口比で大府市の2・3倍となる。平成18年10月28日「自殺対策基本法」が施行され、国の責務・地方公共団体の責務・事業主や国民の責務が定められた。聖籠町の自殺の状況をどう分析している。自殺は個人的な問題としてのみとらえられるべきものでなく、さまざまな社会的な要因があるも



社会全体で いのち を守れ

町長 今の社会事象の中で時代的背景をもとにした社会的な現象であり、自殺防止対策について高度な立場からの質問に敬意を表したい。町では自殺者の実態と自死遺族の現状を把握し、今後の自殺予防を検討するため、遺族のご協力を得て可能な限り聞き取り調査をしている。

町長 題だと認識している。「自殺対策基本法」の理念のとおり、自殺は単に個人的な問題のみでなく、社会的な要因など複合的原因や背景を有するため、社会的な取り組みとして、精神保健の観点からだけでなく自殺の実態に即して実施すべきである。町民の命を守る施策についての配慮と熱意につ

いては、防災・防犯・保健・福祉・交通安全・環境・雇用などさまざまな側面が考えられるが、縦割的発想を超えた総合的な対策が必要と考えられる。



小川 益一郎議員

町長 豊かな町を標ぼうしている聖籠町の個々人の安心、安全、命と暮らしを、どう実現させるべきか。病める町、聖籠をどう治すのか。

町長 豊かな町を標ぼうしている聖籠町の個々人の安心、安全、命と暮らしを、どう実現させるべきか。病める町、聖籠をどう治すのか。

町長 題だと認識している。「自殺対策基本法」の理念のとおり、自殺は単に個人的な問題のみでなく、社会的な要因など複合的原因や背景を有するため、社会的な取り組みとして、精神保健の観点からだけでなく自殺の実態に即して実施すべきである。町民の命を守る施策についての配慮と熱意につ

いては、防災・防犯・保健・福祉・交通安全・環境・雇用などさまざまな側面が考えられるが、縦割的発想を超えた総合的な対策が必要と考えられる。



小林 政榮議員

どうする農業基本条例

町長 本町農業のあり方を定める

問 農業基本条例制定に向けて、検討委員会設置が今議会に提案されている。

町長 農業基本条例とは、本町農業にとってどのような意味をもつものなのか、条例の趣旨と目的を明確にすると同時に、検討委員会にはどのような形で審議・検討をお願いするのか。

町長 本町における農業農村のあり方についての基本理念及びその実現に必要な施策の基本方針を定め、基幹産業である農業の推進をはかる。条例検討委員会を設置し、来年3月を目途として検討・審議をする。



稼動が待たれる大型生ごみ処理機

たい肥は販売するのか

町長 当面は販売しない

問 大型生ごみ処理機の設置により、次年度から、生ごみたい肥リサイクル事業が開始するが、たい肥の活用先について、どう考えているか。

町長 すでに、たい肥の効果については、有機栽培農家等を実証実験を依頼し、効果の確認は終了している。

基本的には特殊肥料として登録し、販売することを検討している。しかし、効果的運用の確立や、たい肥の安全生産をはかるため、たい肥の販売はしない。

問 加工センターにもちつき機を設置することは、加工センターの設置の趣旨と整合性があるのか。具体的な計画を示してほしい。

町長 加工センター利用者協議会の要望により導入するもので、本町産のもち米の消費拡大と加工品販売による付加価値農業の実践を考える。ブランド的な素材も有機的に結び付けた農業を模索したい。

何のためのもちつき機導入か

町長 農家所得の向上を目指す

住宅リフォーム助成を

町長 やる気はない

問 1月28日、日本共産党の市田忠義議員の代表質問で住宅リフォーム助成の質問を行った。

菅直人首相は次のように答弁した。地方公共団体による住宅リフォームへの助成制度については、社会資本整備総合交付金を活用することができ、今後も支援していく」としているが町の考えはどうか。

町長 住宅リフォーム助成について、税金を投入することはなじまなし、やる気はない。社会資本整備総合交付

金事業の中に、聖籠町において直接的に、助成できるメニューはない。

問 高齢者の新たな医療制度について最終とりまとめがされた。

75歳以上の高齢者の医療費の1割を保険料でまかなう。70歳から74歳の窓口負担を現行の1割軽減を段階的に2割負担にする。低所得者への保険料軽減措置を段階的に縮小する。この3点が非常に問題であるがどう考えるか。

どうなる高齢者医療

町長 協議を見守り判断

町長 医療費の1割を保険料でまかなうことは現在も同じであり、問題はない。平成20年4月から本則で2割負担となっている。特例措置で国保被保険者70歳から74歳約660人高齢受給者証を交付し、5〜6人除いて1負担負担が平成24年まで延長される。段階的に縮小することについては、国で議論を行うが協議を見守り判断する。



住宅リフォームで業者の活性化を

保健室からエアコンを

教育長 パソコン教室から設置

問 エアコンの設置は、保健室から設置すべきでないか。

教育長 パソコン教室にはパソコンが30台以上設

置され、機械より熱が出て高温となるので、子どもの体調を考えてエアコンを設置する。

国保一部負担金の実施要綱をつくれ

町長 対応できるか考えたい

問 国から国保一部負担金の減免通知がきている。村上市では世帯の実収入が生活保護基準の110%以下では国保免除。世帯の実収入が生活保護基準の120%以下は国保減額。

聖籠町でも早急に要綱をつくるべきでないか。

町長 国民健康保険の一部負担金の要綱については、国保の運営協議会で対応がはかれるか考えたい。



中村 恵美子議員



田宮 実議員

融資貸付審査の簡素化を

町長 今後検討

問 我が町では中小企業には地方産業育成資金・中小企業振興資金融資制度等があり、一般町民には住宅増改築資金制度がある。企業また、町民は優遇され頭の下がる思いで一杯である。

その制度は、融資を受けるには、担当課に提出し、それを審査し決定する。その審査は申込者の業績内容等が紹介されることでプライバシー的な面、また、個人情報保護的の面から利用者が少なく活用を拡大するには検討の余地がある。

他の市町村では審査会はなく、担当課長の受付印と首長の決済で決定する。当町も他市町村と同

様の審査を簡素化し利用者拡大をはかり、商業活性化と消費拡大をはかった方が良くと思うがどうか。

町長 他市町村に準じた形の中で検討をさせてもらいたい。

事務的調査して、また審査会の意見も拝聴し委員の皆さんの理解をいただきプライバシー保護の観点に立って今後基本的に検討を考える。



特産品開発が期待される加工センター

加工センターの利用は

町長 総利用日数で148回

問 農産物加工センターについて、最近各地で色々な野菜類等が生産から加工販売まで6次産業が盛んに行われている。聖籠町には果物・野菜類・根菜類・魚介類等が多く収穫される。それを加工センターを活用し、食品加工してプ

ランド化を目指し付加価値を付けて販売することが目的である。

今までのセンター利用者の延べ人数はどれくらいか。また、どのような野菜類を多く使ったか。どんなブランド食品が開発されたのか。

町長 センターの利用者回数は2月21日現在で半日1回を単位として、味噌関連68回、漬物関連40回、もち作業関連37回、米粉作業関係39回合わせ総利用日数184回の利用がある。

持ち寄った食材原料は、大豆、こしじ用の米、笹団子用のもち米、米粉等の米がある。

ブランド品については製粉会社と連携して、聖籠の米粉をブランド品力レー粉として地場物産館で販売していきたい。

東港振興室の業務は 産業の活性化事業

問 4月に新設する東港振興室は税収、雇用、観光、防災などさまざまな分野において重要な東港を管轄する部署であるだけに、当然のことながら多くの成果を期待することになる。

企業誘致以外にも具体的な業務があるのか。

また、聖籠海岸や網代浜船だまりは集客や観光事業の起爆剤になる可能性も充分にあると考えられる。

産業、観光について、

他の担当課との連携や掌握範囲を今後どのようにはかるのか。

町長 日本海側拠点港湾の選定に向け、県・新潟市と共にポートセールス、地域内産業の活性化を目的としたビジネスマッチング事業、さらに、東港の港湾機能の拡張に向けた国・県に対しての要望活動を行う。

また、観光については産業課との連携を模索していきたい。



堀 常正議員

海洋交流施設の活用は

町長 みんなで利用できる施設

問 春から始まる海洋レクリエーション交流施設建設は、船だまり利用者が活用できる最初の建物となる。

聖籠海岸の活用方法、観光産業の育成、地場産業の発展などにこれまでの整備とは異なるインパクトを与えることになるのではないかと期待している。

今後の具体的活用方法や、規模、維持管理、あるいはこの先の整備計画はどうか。また、今回の

整備を弾みとして、周辺の緑地帯がどうなるのか。

町長 マリンスポーツとしてのセーリングやプレジャーボート、ウインドサーフィン、海水浴客などの利用者がシャワーや休憩室等を気軽に利用できる施設として考えている。

また、今後の海洋レクリエーションの振興をはかるため、交流施設を活動拠点としたNPO法人の設立に向けて関係者と協議中である。



観光拠点になれ 海洋交流施設

背後地の緑化整備は災害時での対応もはかられるような舗装整備、環境整備も含めて対応したい。

将来には、聖籠町の総合海浜公園と整合をとりながら事業の促進をはかっていきたい。



加藤 正之議員

村下開発新たな負担か

上下水道課長 要件がそろえば町が負担

問 村下開発の分譲地を買った業者は今の区画80坪では広過ぎて売れないので、40坪程度の区画にやり直して販売するということだが、そうなった場合、下水道工事は町が新たに負担しなければならないか。

上下水道課長 下水道計画区域内であり、すでに1カ所公共汚水枡がついているが、分筆登記完了後個人住宅の建築確認申請等要件がそろえば、管理者である町が工事をしなければならぬ。



早く住宅建設が待たれる村下開発分譲地

事務事業評価の本格実施はいつから

町長 24年度〜25年度までに

問 21年度の事務事業評価を試行実施したが、改善等が必要な事業が23年度に間に合わない。改善はもつとスピーディーにできないか。また、本格実施はいつからか。

町長 事務担当と所属長が1次評価、町長が2次

問 評価を行った。今回は評価法や基準・結果の活用方法をどうするか施行の段階で検討中である。学識経験者等も含め評価できる体制を、24年度〜25年度までに方向づけたい。

参議院選は県内で最低

選挙管理委員長

鋭意努力した結果

問 昨年の参議院選での開票結果によると、所要時間で聖籠町は投票総数が少ないにもかかわらず4時間12分で、県内町村の中では最下位だった。この数字をどう受け止めているか。

選挙管理委員長 鋭意努力した結果であり、真しに受け止めている。正確性を重視してダブルチェック体制をとり、人員配置が二重になった。今後は正確を第一にスピードアップに取り組む。

掲示場1カ所で十分か

町長 十分要件を満たしてる

問 条例で役場前の電話ボックスの隣に掲示場が指定されているが、1カ所で十分か。また、掲示場の管理が不十分だ。町民の権利や義務に係る重要なものは町の広報等に掲載しているが、全部を掲載することはできない。町のホームページを利用した、公平な情報提供ができないか。

町長 重要なものは町の広報で周知しているので十分と考える。管理不十分の状態は遺憾、配慮した管理をさせる。ホームページで公開することは簡単なことなので新年度から対応する。

亀代小学校へ視察調査

総務文教

1月14日、耐震補強工事が終了した亀代小学校へ視察調査を行った。

亀代小学校は、昭和53年4月、現在地に新校舎開校。校舎の築年数が町内3小学校の中で一番古く、海岸近くにあるため塩害の被害もあった。

工事は、国庫補助金と一般財源を合わせ、総計2億7436万円。

以前から危険だと指摘されていた校舎内の窓ガラスが今回の工事で一新され安心安全な校舎になったと実感した。

学校長との懇談では、平成22年度1学期・2学期の学校評価アンケートの集約結果が資料提供され意見交換をした。

小学3年生以上の算教科において、きめ細やかな少人数学習指導が効果的であ



り、町採用の非常勤講師の役割は大きいということであった。

町の小中学校では、昨年9月から県事業「学力向上ウェブシステム」を導入した。今後の成果が期待される。

杉の子の家など現地調査

厚生産業

1月25日、幅員6m以内の未整備道路の委員の見解とりまとめと、杉の子の家パン工房事業及び聖籠地場物産内倉庫の現地調査を行った。

幅員6m以内の未整備道路については、先に実施した現地調査の結果を踏まえて見解を次の通りとりまとめた。

ア、この運用取扱いは、町道舗装（6m以上）の基準を変えることなく、生活道路の利便性を損ねている町民に対する特例的措置であり、基本的に賛同する。

イ、具体的対応策について、不公平が生じないことなど5項の留意点を要請した。

杉の子の家パン工房について、12月1日から活動をスタートしている本事業は、米粉を活用したパン工房を障がい者の活動範囲の

拡大と、就労自律を目指しており、実技習得の段階であったが、試作品を試食させていただき、今後の生産活動が期待できる現地調査であった。

地場物産内食堂について、12月23日にオープンしたばかりで、まだまだ実績は少なかつたが、今後メニューの拡大や、宣伝効果を発揮して、客数の拡大をはかることを期待する。



委員会閉会中の継続調査報告

緑・ふれあい・夢づくり 平成23年度から

～協働による町民自治の実現～ 『第4次聖籠町総合計画』スタート

第4次総合計画調査 特別委員会報告

3月9日に付託された議案第11号第4次聖籠町総合計画の基本構想を定めるについて、3月16日・17日に町長・副町長・教育長・担当課長の出席を求め慎重に審査を行った結果、次の意見を付し原案どおり可決しました。

町執行部は基本構想の議案上程等にあたり、議会での審議過程における意見を尊重することから、施策立案及び実施に当たっては十分留意する必要がある。

委員会からの意見

- ① 本構想の計画期間は平成23年度から32年度までであるが、裏付けとなる財政計画が作成されていない。計画期間と整合する長期財政計画を作成する必要がある。
- ② 協働による町民自治の実現を基本理念としているが、すべての行政分野において町民と情報を共有し、開かれた行財政の運営とすべきである。



町民と共に 協働

- ③ 基本構想には、土地利用に関する基本的方針として土地利用構想が設定されているが、基本計画では表記されていない。土地利用は町発展の基礎であることから、第2次聖籠町都市計画マスタープランの作成にあたっては町民の要請等も加味する必要がある。
- ④ 施策の目標値設定にあたっては、政策と整合性のある目標



知識者を招いて勉強会（新潟県立大学 国際地域学部 田口一博准教授）

- ⑤ 本町に災害が発生した場合、役場庁舎に対策本部が設置される。しかし、庁舎の耐震は直下型地震で倒壊のおそれがあることから、現在の想定震度を見直すと共に、庁舎の耐震補強を早急に進めるべきである。
- ⑥ 災害時には流通備蓄を基本としているが、東北地方太平洋沖地震では流通備蓄が機能しなかった。このため、生活物資等の備蓄については聖籠町地域防災計画に定めた町民に求めている相当分を、町でも備蓄する必要がある。
- ⑦ 近年、自殺者が急増しているが、悩んでいる人が相談しやすい環境づくりを早急に確立するべきである。
- ⑧ 第三セクターの運営には企業経営感覚の備わった人材の登用が望ましい。
- ⑨ 国際交流は現在のものを基本とすることは理解できるが、今後は国際的に主流となっている英語圏との交流も検討するべきである。

議会は今後、決算審査の中で進ちよく状況をチェックするなど、計画の進行管理を行っていきます。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は、
6月中旬開催の予定です。

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。あなたに身近なことも知れません。お気軽に傍聴においでください。

会議録は、町の図書館と保健福祉センターに置いてありますので、どうぞご覧ください。

なお、一般質問の通告一覧は、定例会開催前に、役場1階窓口、町民会館、図書館、保健福祉センターに設置しますので、ご覧ください。



募集しています

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来た
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方は、お気軽にご連絡ください。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)
聖籠町役場議会事務局
☎0254-27-1967 (直通)

議会広報対策 特別委員会

議長 須貝 龍夫
委員長 中村恵美子
副委員長 高松 守雄
委員 小川益一郎
宮沢 光子
田村富美男
小林 政榮

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

未来への輝かしい 希望を感じます



宮澤 富美子 さん
(網代浜)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

主人とは、お見合いで知り合いました。
優しく包み込んでくれる笑顔にひかれました。

Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？

静かで環境の良い町だと思いました。朝・夕には港の船の汽笛がやわらかい音で聞こえてきます。心が安らぐ音です。海外との交流もあり、未来への輝かしい希望を感じずにはいられません。

Q 町での生活はどうですか？(楽しい新生活のエピソードもあったらお聞かせ下さい)

毎日気持ち良く過ごしています。犬と散歩している近所のおじさんやおばさんが、笑顔で優しい声をかけてくれます。気持ちがいいし、うれしいです。
町の人たちに親切にしてもらっているので、出掛けるのが楽しみです。

Q 町に望むことはありますか？

世代を超えて友達が欲しいので仲良くしてください。
よろしく願います。これからも元気で、あったかい町であってください。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は阿賀野市出身で、平成21年6月に網代浜に嫁いで来た宮澤 富美子(旧姓 加藤)さんです。
皆さんよろしく願います。

平成23年3月11日午後2時46分三陸沖を震源とする大地震が発生した。「東北地方太平洋沖地震」と命名され過去最大のM9.0である。
地震・津波・原発事故トリプル大惨事となった。
平成23年度予算審査特別委員会の審議中の地震であった。
しかも「消防・防災」の質疑の最中である。
自然の猛威に驚きと恐怖を感じる。
津波は全てを飲み込んでしまった。避難者50万人、死亡者2万人超と推定される。東日本全域にわたる被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げ、亡くなられた方々に哀心よりお弔みを申し上げます。
聖籠町も日本海に接し新潟東港工業地帯には、発電所、LNG基地、石油備蓄基地が連立した石油コンビナート地区がある。
今、平時の時こそ安心安全な町づくりのため備蓄基地が求められている。
今年第4次総合計画の改定中である。災害に備えあれば患えなし。急げ。

議会広報対策特別委員会
委員 小川 益一郎

編集後記